

令和6年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	14	学校名(課程)	長野 高等学校(定時制・通信制)
------	----	---------	------------------

1 目 標

○ 社会的な自立と自己実現を可能にするため、社会(進学・職業)への円滑な移行に必要な力の育成

2 現状・課題

生徒が自身で積極的に職業に関する情報や自分に適する職種について考察・探究などを苦手とする生徒が年々増加に傾向にある。また、集団の中で自分と周囲との適度な距離感をもつことが困難を感じている生徒もみられる。

3 つけたい力

- a 職業(大学・専門学校卒業後の就職を含めて)に関する様々な情報の収集・考察・選択・活用する力
- b 将来社会人としてどのような社会的役割を果たすべきかを考え、探究する力
- c 円滑な集団生活を築く上で必要な、規範意識・マナーを学び、実践する力
- d 自分の人生を構想する「キャリアデザイン」を実現する力

4 内 容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 就業体験・キャリア出張講座・進路講演会・看護体験への参加に当たっては、事前・事後指導を活用して経験を生かせるように考察する機会を設ける。〈②③〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ アルバイト、インターンシップの有効活用。〈②③〉 ウ 教科書・新聞・各種資料・SNS を用いて、現代社会における職業人としての生き方を考えるように指導する。〈①〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 様々な知識技能を修得するのみにとどまらず、これらを用いて思考・判断・表現する能力を養い、かつ他者に対して自らの考えを伝達する能力を育成する。また、学んだことと社会とのつながりについて考えるように指導する。〈②④〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・他者と協調して考え、討論し、或いは解決策を探る活動の場を確保するための、少人数グループによる学習活動の導入〈1～4年〉 ・3年次の科目選択を含め、授業で扱う内容から職業への興味・関心の喚起〈1～4年〉
総合的な探究の時間	・自己の体験を振り返り、伸ばすべき点・改善する点を熟考することで、将来の職業選択へとつながる機会とする生活体験発表大会。〈1～4年〉 ・主体性、問題解決力を培う総合探究のチャレンジ学習〈1～4年〉 ・対人関係をよりよく築く力を養う、サポステなどの各種講演会〈1～2年〉 ・ハローワーク担当者面談、ビジネスマナー講座〈3～4年〉
特別活動	・人としてのありようや、生き様を考えるための職業適性検査、小論文の実施〈1～2年〉 ・進路の研究と選択〈2～4年〉 ・将来の人生設計、人生の目標の考察〈1～4年〉
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験活動(全員＋希望者は複数回可)〈2～4年〉 ・オープンキャンパス、職場体験(両者とも希望者)〈3～4年〉 ・看護体験(希望者)〈1～4年〉
地域や産業界等との連携	・就業体験(事前、事後指導も含む)
評価	・生徒アンケート、面接 ・教職員アンケート ・各種「生徒意識調査」の活用(県教委・校内等)
中学校との連携 (指導の継続性)	・学校説明会で高校のキャリア教育を説明 ・中高連絡会の活用(入学前) ・入学後、高校入学までのキャリア形成の振り返り〈1年〉
校内の推進体制	・キャリア教育の推進(教頭、進路指導、各学年担任、教務、生徒指導等との連携) ・全教職員で生徒の個人情報や進路希望など情報交換を密に行い協力体制を築く。
キャリア・パスポートの取組	・中学からの報告を確認し、高校でのキャリア教育実施後に報告書や感想文を書くことにより、本人の考えの変化をチェックしながらキャリア育成に活かしていく。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年
目 標	○高校生としてどのような生活を送るか、また卒業後の自分の将来についてなどを考察する力の形成 ○進路について調べる力をつける	○各種ガイダンス等を通じて職業に関する理解を深める ○進路について考え、自分なりの方向性の確立をする
主 な 取 組	○高校生活への順応 ○情報収集能力を培う(情報授業、タブレットの活用) ○チャレンジ学習(総合探究) ○生活指導関連講演会(性被害・薬物乱用防止)	○就業体験(事前指導・事後指導)、アルバイトやインターンシップ等の推奨 ○キャリア出張講座、進路講演会 ○企業見学 ○チャレンジ学習(総合探究)
評 価	・生徒意識調査(県教委等) ・生徒アンケート、面談 ・教職員アンケート	・生徒意識調査(県教委等) ・生徒アンケート、面談 ・教職員アンケート

	3修生 3年	4修生 3年・4年
目 標	○進路実現のための自己研鑽力をつける ○社会人として目標を立てる ○社会人としての基礎知識やマナーの習得	○進路実現のための自己研鑽力をつける ○社会人として目標を立てる ○社会人としての基礎知識やマナーの習得
主 な 取 組	○進路面談(担任、ハローワーク担当者等) ○求人票の見方、履歴書記入、面接練習 ○企業見学、インターンシップ ○キャリア出張講座、ビジネスマナー講座、進路講演会 ○チャレンジ学習(総合探究)	○進路面談(担任、4年次のハローワーク担当者等) ○求人票の見方、履歴書記入、面接練習(4年) ○企業見学、インターンシップ ○キャリア出張講座、ビジネスマナー講座、進路講演会 ○チャレンジ学習(総合探究)
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・生徒アンケート、面接 ・教職員アンケートと進路状況のまとめと考察	・生徒意識調査(県教委) ・生徒アンケート、面接 ・教職員アンケートと進路状況のまとめと考察

年間指導計画と各取組の関連

学年	教科	総合的な探究の時間	特 別 活 動 等	その他(面接・評価等)	
1 年	4	・シラバス説明 各教科においての授業が 進路実現に必要であることの説明 ・各教科で基礎学力の確認と高校における 学習の取り組み方の指導 ・数学・英語で「すらら」を活用し基礎力 充実を図る	・総合的な探究(チャレンジ学 習)の時間で自らの課題をみ つけ探究し、各自でまとめて いく(4～9月) ・サボステ講演会(5月) ・生活体験発表の個別の取組み	・高卒認定試験、学校外学修等単位 に関するオリエンテーション(4月) ・定時制通信制総合体育大会(5月) ・薬物乱用防止講話(4月) ・交通安全講話(5月) ・文化祭(6月)	・生徒アンケート ・面接
	7				
	夏休	各自で各教科の弱点を補う	・生活体験発表の個別の取組み		
	9	・各自の進路に必要な学習を、教職員がア ドバイスしながら自分で取組む。 ・卒業予定者が進路に向けて取組む姿勢を みて自己の進路を考える	・校内生活体験発表大会(9月) ・北信生活体験発表大会(9月)	・各種進路関係テストの活用 ・校内スポーツ大会(9月) ・定時制通信制総合体育大会(11月) ・人権教育(12月)	・個別面談(10月)
	12				
	1	・1学年の振り返りとまとめ			・生徒意識調査(県教委) ・進路調査
	2		・消費生活講座(1月)	・大学入試センター試験の説明	
春休	・国語数学英語のまとめ			・教職員 まとめと考察	
2 年	4	・シラバス説明 各教科において1年次の 学習をもとに2年次の学習の展開と継 続の説明 ・進路に特に必要な教科の学習について教 職員のアドバイスを受けながら生徒が 指針を立てる ・数学・英語で「すらら」を活用し基礎力 充実を図る	・総合的な探究(チャレンジ学 習)の時間で自らの課題をみ つけ探究し、各自でまとめて いく(4～9月) ・校内進路説明会(7月) ・生活体験発表の個別の取組み	・高卒認定試験、学校外学修等単 取得に関するオリエンテーション(4月) ・定時制通信制総合体育大会(5月) ・文化祭(6月) ・交通安全講話(4月) ・薬物乱用防止講話(4月) ・平和学習(7月)	・生徒アンケート ・面接
	7				
	夏休	各自で各教科の弱点を補う	・生活体験発表の個別の取組み		
	9	・各自の進路に必要な学習を、教職員がア ドバイスしながら自分で取組む。 ・卒業予定者が進路に向けて取組む姿勢を みて自己の進路を考える	・校内生活体験発表大会(9月) ・北信生活体験発表大会(9月)	・各種進路関係テストの活用 ・校内スポーツ大会(9月) ・定時制通信制総合体育大会(11月) ・人権教育(12月)	・個別面談(10月)
	12				
	1	・3学年で各自の進路に必要な授業選択 ・2学年の振り返りとまとめ	・消費生活講座(1月)	・進学模試(1月) ・大学入試センター試験の説明	・生徒意識調査(県教委) ・進路調査
	2				
春休	・国語数学英語の自主学習			・教職員 まとめと考察	
3 修 生 3 年	4	・選択講座、学校外学修等単位取得に 関するオリエンテーション(4月) ・3修生は進路に必要な基礎事項の確認と 学習の立案 ・数学・英語で「すらら」を活用し基礎力 充実を図る	・総合的な探究(チャレンジ学 習)の時間で自らの課題をみ つけ探究する。3修生は面接 等を考えながら各自でまと めていく(4～9月) ・生活体験発表の個別の取組み	・交通安全講話(4月) ・定時制通信制総合体育大会(5月) ・薬物乱用防止講話(5月) ・文化祭(6月) ・面接練習(7～12月)	・生徒アンケート ・面接
	7				
	夏休	各自で各教科の弱点を補う 企業研究 進学先研究	・生活体験発表の個別の取組み	・(希望者)オープンキャンパス 職場事前見学、看護体験	・面談 ・面接指導
	9	・各自の進路に必要な学習を、教職員のア ドバイス受けながら自分で取組む。	・校内生活体験発表大会(9月) ・北信生活体験発表大会(9月)	・就職進学試験 ・面接練習 ・個別進路相談(9～12月)	
	12				
	1	・3年間の振り返りとまとめ	・消費生活講座(1月) ・ビジネスマナー講座(1月)		・生徒意識調査(県教委) ・生徒アンケート
	2				
春休				・教職員 まとめと考察	
4 修 生 3 年 4 年	4	・進路に必要な基礎事項の確認と学習の立 案(3年4年) ・数学・英語で「すらら」を活用し基礎力 充実を図る	・総合的な探究(チャレンジ学 習)の時間で自らの課題をみ つけ探究する。4年次に面接 等を考えながら各自でまと めていく(4～9月) ・生活体験発表の個別の取組み	・選択講座、学校外学修等単位取得 に関するオリエンテーション(4月) ・交通安全講話(4月) ・定時制通信制総合体育大会(5月) ・薬物乱用防止講話(5月) ・文化祭(6月) ・面接練習(7～12月)	・生徒アンケート ・面接
	7				
	夏休	各自で各教科の弱点を補う 企業研究 進学研究(4年)	・生活体験発表の個別の取組み	・(4年希望者)オープンキャンパス 職場事前見学、看護体験	・面談 ・面接指導
	9	・各自の進路に必要な学習を、教職員がア ドバイスしながら自分で取組む。	・校内生活体験発表大会(9月) ・北信生活体験発表大会(9月)	・就職進学試験(4年) ・面接練習(4年) ・個別進路相談(9～12月)	
	12				
	1	・4年間の振り返りとまとめ	・消費生活講座(1月) ・ビジネスマナー講座(1月)		・生徒意識調査(県教委) ・生徒アンケート
	2				
春休	・国語数学英語のまとめ(3年)			・教職員 まとめと考察	

就職指導
進学指導

就職指導
進学指導